

東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会
第3回 中流域ワーキング
議 事 概 要

事項	東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏) 地域総合治水推進協議会 第3回中流域ワーキング	出席者	46名(随行者・事務局除く)
日時	平成28年2月4日(木) 14:00～16:00	場所	やしろ国際学習塾 中会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 推進計画の概要説明</p> <p>(2) 取組事例紹介</p> <p>(3) フォローアップの進め方について</p> <p>(4) 意見交換</p> <p>3 閉会</p>		
資料	<p>議事次第、出席者名簿、配席図</p> <p>資料1 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱</p> <p>資料2 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画 概要版</p> <p>資料3 加東市河高地区での取組</p> <p>資料4 西脇市黒田庄町福地地区での取組</p> <p>資料5 多可町加美区多田川流域での取組</p> <p>資料6 三木市での取組</p> <p>資料7 小野市での取組</p> <p>資料8 加西市での取組</p> <p>資料9 姫路河川国道事務所での取組</p> <p>資料10 県の取組</p> <p>資料11 地域総合治水推進計画フォローアップの進め方について</p> <p>参考 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画(本文)</p>		

1 開会

加東土木事務太田所長補佐より開会のあいさつを行った。

事務局より、新たな委員の紹介を行った。

2 議事

2.1 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画について

事務局は、資料1により東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画の説明を行った。

2.2 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画における各市町、国、県の取組事例の紹介

取組主体は、資料3~10により、各市町、国、県における取り組みについての説明を行った。

2.3 地域総合治水推進計画のフォローアップの進め方について

事務局は、資料11により推進計画のフォローアップの進め方について説明を行った。

2.4 意見交換会

主な意見

(1) モデル地区(西脇市黒田庄町福地地区)について

・福地川のJR橋梁について、JRとどのような調整を行ったのか。(小野市県民委員)
⇒JRとの協議は非常に難しい。当該箇所では、軌道下の河道断面を改良しているが、資料4にあるような写真をJR側に提示し、軌道下の河道断面を改良することで線路も浸水しなくなるといった内容で施工協議を行った。結果的には、軌道下を隣接工事として市が施工することで、了解を得ることができた。(西脇市上下水道部工務課長)

(2) モデル地区(多可町加美区多田川流域)について

・砂防ダムの施工について、どういう部署と話をして施工に至ったのか教えて欲しい。(小野市県民委員)
⇒多田川流域の砂防えん堤は多可事業所にて現在2基施工中であり、さらに1基設計中である。えん堤には砂防事業と治山事業の二種類があるが、砂防事業は人家の手前で流れてきた土石流をくい止めることを目的とし、治山事業は山の崩壊を止めることが目的である。砂防事業は土木、治山事業は農林が担当しているが、どちらの事業が住民の方のために良いかは人家の密集具合や溪流の状態によるため、えん堤を施工して欲しいという場合は、まずは、地元市町に相談してもらい、それから県が立会を行うこととしている。(加東土木事務所多可事業所長)

・小野市両来住郷には崩落危険箇所(土砂災害警戒危険区域?)に指定された箇所があり、すでに加東土木と加東農林には立ち会ってもらっているが、その後連絡がない。また、溪流下流の水路が脆弱であることから気になっている。(小野市県民委員)

⇒場所を具体的に教えていただき、後日、県関係部署および小野市に確認して、個別に回答する。(事務局)

(3) 河川・下水道対策

・加西市九会地区の区長会およびふるさと創造会議で出た話であるが、小野市と加西市の市境から上流の万願寺川および下里川に接している網引地区や田原地区では、河床に土砂が溜まって浅くなっており、大雨の度に田んぼの水が河川に排水できず、田んぼが冠水して困っている。小野市を流れる万願寺川はきれいに土砂撤去されているが、加西市内ではところどころ撤去している状況であり、下里川についてはほとんど手をつけられておらず、どんどん土砂が溜まってきている。何とかして欲しい。(加西市県民委員)

⇒推進計画内でも、土砂撤去については河川の特長や整備の段階を考慮し、適切な維持管理を行うと記載している。要望されていないのであれば、市を通じて県に要望して頂きたい。(事務局)

⇒土砂撤去については県も認識している。加東土木にも多数の要望があがっているが、すべての要望に対応できておらず、全県的にも同様の状況である。この2月に補正予算がついたので、全ての箇所土砂取除くことは難しいが、順次対応していく。土砂撤去の要望を県に出してもらった方が予算の確保がしやすいので、要望があればあげて頂きたい。(加東土木事務所副所長)

(4) 減災対策

・推進計画のP54では「県の責務 市・町の責務 県民の責務」について記載しており、県民は施策に協力することと謳っている。行政は県民に対して情報を開示する必要があるが、県民が危険に対する自覚をもっていないと行動が伴わず、行政が作った計画をいかに県民に自覚してもらうかが大事と思う。姫路河川国道事務所の発表にあった重要水防箇所の共同点検も住民に伝わってこない。県民が平日一緒に行くことは難しいので、土日でもいいから、住民と一緒に行ってはどうか。また、結果についても開示して欲しい(多可町県民委員)

⇒行政は危険箇所を周知することとしており、ハザードマップ等を公表しているが、もっと住民の自覚を促す開示の方法ができないかも検討する必要があると思う。(事務局)

⇒ご指摘のとおり、広報の仕方は工夫しなくてはならない。重要水防箇所についてはホームページで公開しているが、住民の方に伝わりやすい方法を検討しなくてはならないと思う。こういった会議の場でも情報提供できればと思う。(姫路河川国道事務所調査第一課長)

3 閉会

東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会

第3回中流域ワーキング 出席者名簿

(順不同 敬称略)

属性	氏名	主な役職
国	寺尾 直樹	姫路河川国道事務所調査第一課長
兵庫県	樋口 俊光	神戸県民センター神戸土木事務所所長補佐(企画調整担当)
	松浦 元治	阪神北県民局宝塚土木事務所三田業務所河川砂防課長
	葉山 琢	阪神北県民局総務企画室室長補佐兼総務防災課長
	奥田 勝彦	阪神北県民局阪神農林振興事務所所長補佐兼農村整備課長
	太田 吉哉	北播磨県民局加東土木事務所所長補佐(企画調整担当)
	岡田 正和	北播磨県民局加東土木事務所副所長(技術)
	八尾 昌彦	北播磨県民局加東土木事務所多可事業所長
	澁谷 幾夫	北播磨県民局加東農林振興事務所副所長
	滝井 文男	北播磨県民局加古川流域土地改良事務所所長補佐
	藪下 隆史	北播磨県民局総務企画室室長補佐兼総務防災課長
市町	中川 伸一	神戸市産業振興局農政部計画課農林土木担当課長
	原 正太郎	神戸市建設局防災部河川課長
	岸本 正昭	西脇市くらし安心部防災安全課長
	真鍋 俊哉	西脇市都市整備部土木課長
	長谷川 竹彦	西脇市産業活力再生部農林振興課主幹
	田中 浩敬	西脇市上下水道部工務課長
	富田 誠	三木市防災監兼危機管理課長
	藤原 伸一	三木市まちづくり部道路河川課長
	實井 龍太郎	三木市美しい環境部下水道課長
	中井 教雄	三木市豊かなくらし部農業振興課副課長(代)
	井岡 伸	小野市市民安全部次長(防災リーダー)
	宇崎 和宏	小野市地域振興部産業創造課長
	藤原 洋一	小野市地域振興部道路河川課係長(代)
	岡田 和久	小野市水道部工務主幹(代)
	本荘 敏和	三田市総務部次長危機管理担当兼防災安全課長
	青野 敬	三田市経済環境部農林振興課長
	石野 隆範	加西市総務部総務課長(防災担当)
	深田 秀一	加西市地域振興部次長兼農政課長
足立 安宏	加西市生活環境部上下水道課長	

属性	氏名	主な役職
市町	肥田 繁樹	加東市協働部防災課長
	小坂 征幸	加東市まち・農整備部地域整備課長
	大橋 勝彰	加東市上下水道部工務課長
	藤本 巧	多可町建設課長
	渡邊 啓三	多可町産業振興課長
	岩田 通宏	多可町上下水道課長
	竹内 勇雄	多可町生活安全課長
県民	新田 嘉己	神戸市山田校下自治振興会会長
	村上 均	西脇市連合区長会副会長
	藪根 隆	西脇市消防団長
	小山内 政子	三木市区長協議会連合会長
	藤岡 善博	小野市両来住郷協議会 相談役
	山下 公明	加西市区長会会長
	山下 奉治	加西市消防団長
	篠倉 貞夫	加東市区長会副会長
	大畑 康洋	加東市消防団長
	工古田 隆夫	多可町区長会会長
	植山 保信	多可町消防団長

議事録確定署名人

座長：北播磨県民局加東土木事務所 所長補佐(企画調整担当)

太田 吉哉

神戸県民センター神戸土木事務所 所長補佐(企画調整担当)

樋口 俊光